

鉢物栽培Ⅱ

講師名	千葉 賢一	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、生理・生態の理解に基づく鉢物生産技術について講義を担当する。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・花き	必修	2	通年	60	4
使用教科書・副教材	農学基礎セミナー 草花栽培の基礎 樋口春三(農文協) 令和2年度花き栽培技術指針(岩手県)					
授業の目的	講義や事例研究を通じて、岩手県の主要な鉢物品目について生理・生態を理解し、基礎的な生産技術を習得する。					
授業の到達目標	岩手県の主要な鉢物品目の生理・生態を理解し、基礎的な生産技術を習得する。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4～5月	育苗技術	主要品目の育苗技術及びセル成型育苗技術について学習する。	4	講義	
5～6月	栽培管理技術(春季)	主要品目の培土作製、施肥設計等について学習する。 主要品目の鉢上げ～初期栽培管理技術について学習する。 鉢物生産における植物成長調整剤の利用技術を学び、その原理(生理・生態)を理解する。	8	講義	
6月	岩手県内の鉢物経営事例	岩手県において、鉢物生産の優良経営事例を学ぶ。	8	事例研究	レポート
6～7月	病害虫防除技術	主要病害虫の診断と防除技術を学習する。	4	講義	
8～9月	栽培管理技術(夏季)	主要品目の夏季管理(高温対策等)技術を学び、その原理(生理・生態)を理解する。 主要品目の施肥管理技術を学習する。	6	講義	
9～11月	栽培管理技術(秋冬季)	主要品目の出荷規格及び選別・調製技術を学習する。	6	講義	
11月	鉢物の流通・販売	鉢物業界ではトップの豊明花き(株)において、鉢物の流通・販売の実際と特徴を学ぶ。	16	事例研究	レポート
1月	岩手県の鉢物生産の特徴	岩手県の鉢物生産の技術的・経営的特徴を学習する。	4	講義	
1月	種苗法概要	種苗法の基礎的内容を学習する。	4	講義	
		合計	60	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

前期と後期に筆記試験を実施し、以下により評価する。

筆記試験:60%

平常点:40%(出席状況、受講態度、提出物、小テスト)

履修に当たっての留意点等

作物の生育状況や天候等により、学習項目の変更や専攻実習と入れ替わる場合があること。